

事業所名: グループホームぽ〜れぽ〜れ四十万

作成日: 令和2年3月26日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16 17	<p>備蓄品であるアルファ米、おこわ、ビスケット等賞味期限切れに伴う更新時、運営推進会議や各ユニットで試食会を行ったところ不評であった。</p> <p>「省みれば、今までの選定基準は「賞味期限が5年間有効なもの」「とりあえず最小限のものを揃える」との考えがあったように思う。「災害時の中で食べる」と言うことの根本的な理念や選定基準の見直しが必要。</p>	<p>令和5年4月までに、一口食べて「ほっとできる」備蓄品をみつける。</p>	<p>災害時の環境の中で「食べる」と言うことは単に空腹を満たすこと、と考えてきたが、今回外部評価の結果をもとに、考え直すきっかけを頂いた。</p> <p>＜災害時の中で食べる、ということとは＞ ①安心感 ②楽しみ ③前向きな気持ち ④活力 ⑤空腹の解消・・・等と考えることができる。</p> <p>「このような考え方を理念とし、現状の備蓄品の賞味期限が切れる令和5年4月までにカップ麺等幅広く検討し次回更新後の備蓄品を揃えたい。</p>	36ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。